

別紙標準様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	第4回 中学校給食検討委員会
開催日時	平成23年11月16日（水） 14時00分から15時30分まで
開催場所	市民会館 第4会議室
出席者	委員長：梅崎副市長 副委員長：南部教育長 委員：村橋教育次長、大西理事兼財務部長、高井企画財政部長、宮垣行政改革部次長（代理）、長沢総務部長、小山都市整備部長、戸野谷公共施設部長、君家管理部長、奈良学校教育部長
欠席者	—————
案件名	1. 中学校給食の提供方法について (1) 他市の事例について (2) 幹事会の検討結果について 2. 今後のスケジュールについて 3. その他
提出された資料等の名称	1. 中学校給食導入の検討 2. 中学校給食の提供方法等の比較検討表 3. 中学校給食の今後のスケジュール（案） 4. P F I 方式による共同調理場整備及び運営経費の状況について
決定事項	<input type="checkbox"/> 中学校給食の提供方法について確認した。 <input type="checkbox"/> 文教委員会協議会に報告する内容を確認した。 <input type="checkbox"/> 今後のスケジュールを確認した。 <input type="checkbox"/> P F I 方式による共同調理場整備及び運営経費の状況について確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について検討を行うため。
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	非公表 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる事項について検討を行う会議の会議録のため。
傍聴者の数	—————
所管部署 （事務局）	管理部 学校給食課

審 議 内 容

総括

- 中学校給食の提供方法について確認した。
- 文教委員会協議会に報告する内容を確認した。
- 今後のスケジュールを確認した。
- 他市のPFI方式による共同調理場整備及び運営経費の状況について確認した。

質疑応答

- 委員長 資料1の実施例で、**市が現在の実施手法になった理由は何か。
- 事務局 合併により、中学校18校のうち8校は全員喫食で、給食を実施していない10校を対象に、選択制ランチボックス方式が採用された。
- 委員 民間調理場方式のデメリットとして、他市の事例では喫食率が低い場合が多いとあるが、何パーセントなのか。
- 事務局 例えば、**市18.9%、**市25.8%、**市28%、**市40%等である。
- 委員 選択制ランチボックス方式で、民間と公設で喫食率に違いはあるのか。
- 事務局 ランチボックス方式は、温かい献立の提供が難しく、冷たいお弁当のイメージがある。今回、公設の共調方式では保温カートの導入を考えており、喫食率の向上が期待できる。条件に入れ委託料を上乗せすれば民間でも可能であるが、調査した中では保温設備を導入しているところはなかった。
- 委員 共調の保温カート費用は、イニシャルコストに含まれているのか。
- 事務局 含めている。
- 委員 保温カートの採用によって各学校の給食受入施設の構造は変わるのか。
- 事務局 学校の受入施設の構造は変わらない。
- 委員 選択制ランチボックス方式で、民間の年間経費が高い理由は何か。
- 事務局 公設では、府補助を活用することで初期投資が抑えられ、運営経費が安くなっている。民間の委託料には施設の減価償却分も含まれる。
- 委員 民間調理場活用方式の学校受入施設運営経費の内容は何か。
- 事務局 主に光熱水費である。
- 委員 給食費は、全員喫食も選択制でも同額か。
- 事務局 給食費は食材購入に使うので、方式によって変わることはない。
- 委員 保温カートの導入は、必要経費にも含めている。デメリットではなくメリットとして整理すべきではないか。
- 事務局 メリットとして記載する。
- 委員 喫食率を50%としているが、30%が現実的であれば、30%で比較する方がよいのではないか。
- 委員長 市の姿勢として、より高くしていきたいとの思いはあると思う。
- 委員 選択制では喫食率の向上は目指すが100%を目標としていない。弁当も持参できて、給食の対応もできる。**市は40%、目標として50%が妥当ではないか。
- 副委員長 年間の給食経費を試算するに際して、目安として概ね50%とした。委員会で検討してもらって、必要であれば修正していけばよい。
- 委員長 11月の文教委員協議会に提出する資料について確認する。
- 委員 選択制共調方式など、困難とした理由は詳細に説明した方がよい。
- 事務局 丁寧に説明する。
- 委員長 幹事会の検討結果のとおり、3つの実施方法について引き続き検討としていくこととしてよろしいか。
- 委員 アンケートの対象は、無作為抽出2,000人でよいのか。

事務局	施策アンケートを参考にしながら、検討したものである。
委員	施策アンケートでは、高齢者の回答率が高い。地域、男女、年代別を検討してはどうか。
委員長	アンケートは委員からの意見も勘案して実施すること。